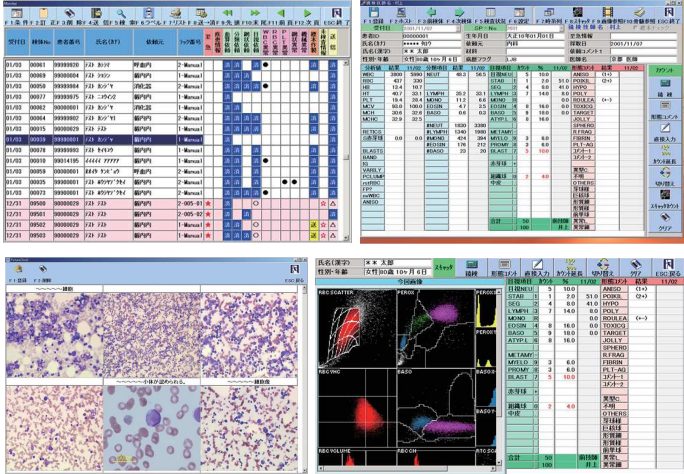


ADeSSo[®] とのリンク

※ADeSSoは弊社血液検査システムのことです。
※ADeSSoとのリンクはオプションとなります。



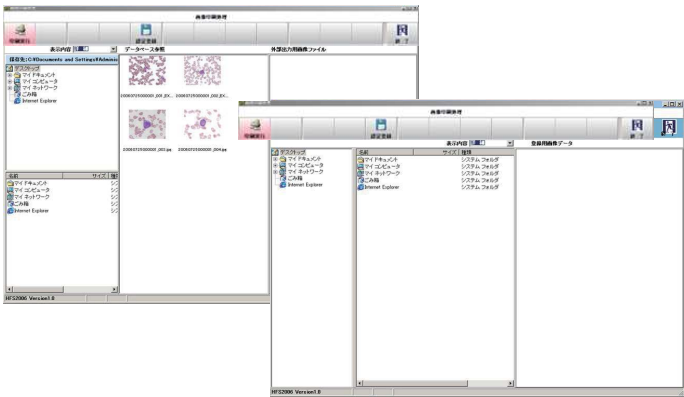
リアルタイムに細胞画像を確認

本ファイリングシステム(HFS3000)とADeSSoシステムをリンクすることで、検査システム側の鏡検カウンターシステムを使用しての目視中に細胞画像確認が行うことができるため、非常に便利な機能になります。

血液検査に特化したシステムに

左記画面例は一例ですが、HFS3000システムとADeSSoシステムを組み合わせることで、血液検査業務に特化した運用形態システムになります。

画像データ入出力機能

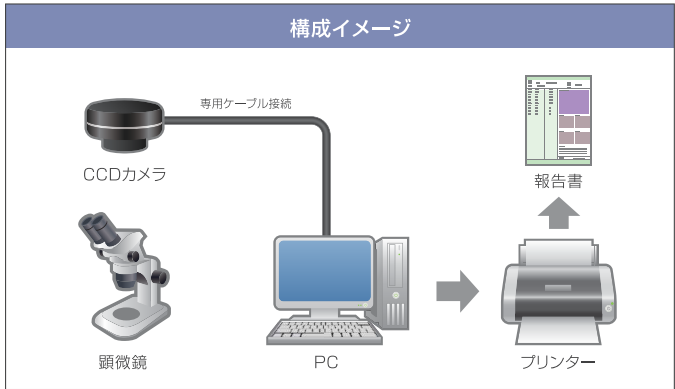


簡単に画像データ入出力が可能

本ファイリングシステム(HFS3000)に格納されている細胞画像データをJPEGデータとして外部出力を行うことが可能です。

外部出力を行いたい細胞画像選択を行い出力先を指定することにより外部出力されます。また、外部画像データを本ファイリングシステム(HFS3000)へ格納することも上記操作の逆手順で可能となり、学会発表用資料作成や研究管理にも役立てることができます。

構成例



動作環境

項 目	
OS	Windows7 / 8 / 10
対応CCDカメラ	オリンパス/DPシリーズ NICON/DSシリーズ
CPU	Corei3 以上
HDD容量	250G以上
メモリ	4GB以上
ビデオ	SXGA[1280x1024]以上

※Windows 7/8/10は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

■システム内容は予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承下さい。 ■本誌の一部または全部を無断で複写複製(コピー)することは著作権法で禁じられています。

開 発 元

株式会社 サイス

〒141-0022
東京都品川区東五反田5丁目23番地1号
第2五反田不二越ビル2F
TEL : 03-5789-3030(代表) FAX : 03-5789-3033
Website : www.saice.co.jp

総発売元

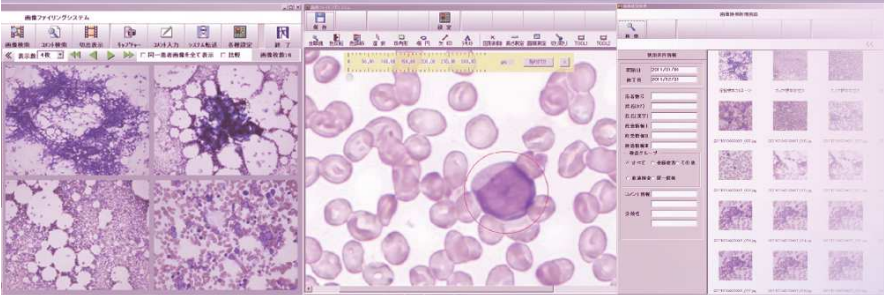
フィンガルリンク株式会社

〒111-0041
東京都台東区元浅草二丁目6番6号 東京日産台東ビル5F
TEL : 03-6802-7145(代表) FAX : 03-6802-7156
E-mail : info@finggal-link.com
Website : www.finggal-link.com

販 売 元

血液画像ファイリングシステム

HFS3000

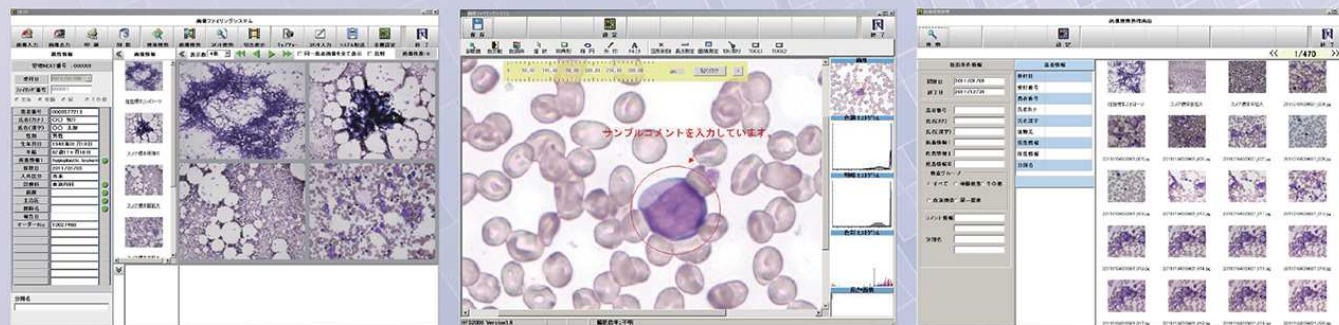


HFS3000の主な特長

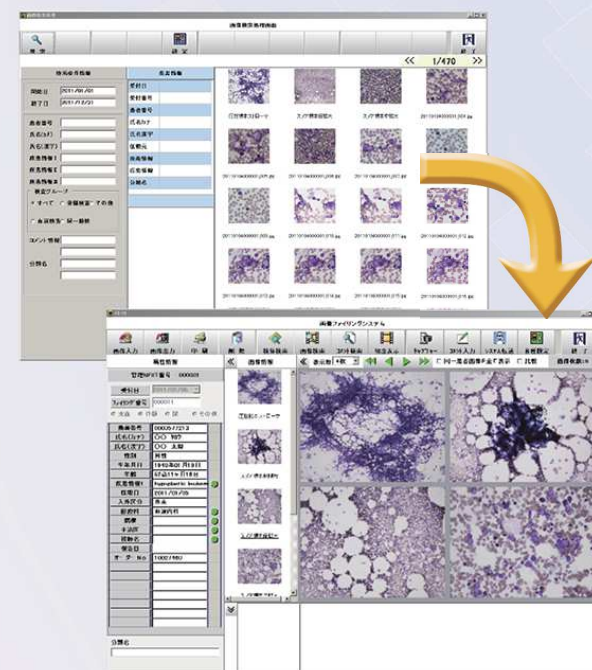
- 顕微鏡用CCDカメラからオンラインで血液細胞画像をファイリングします。
- 顕微鏡写真画像の他、各種画像ファイルをデータベース管理します。
- 画像ファイルは、検体情報や患者属性などから検索等ができます。
(患者コード、患者名、疾患情報(AML、ATLL、CMLetc..)などの条件を複合可能。)
- 血液細胞画像の、標本抽出機能により、必要部分だけを抽出し管理&報告できます。
- 報告書のレイアウトをユーザー設定により自由に作成できます。

オプション機能

- 画像データの編集が行えます。(市販編集ソフトにリンク可能)
- 院内LANを利用してWebでの画像参照ができます。
- 血液検査システムと接続する事で、血液分析装置の数値データも管理できます。
- 弊社検査システム「ADeSSo」とリンクさせる事で、ADeSSo側に細胞画像が送信可能です。



症例検索



1. 画像検索機能で素早く検索

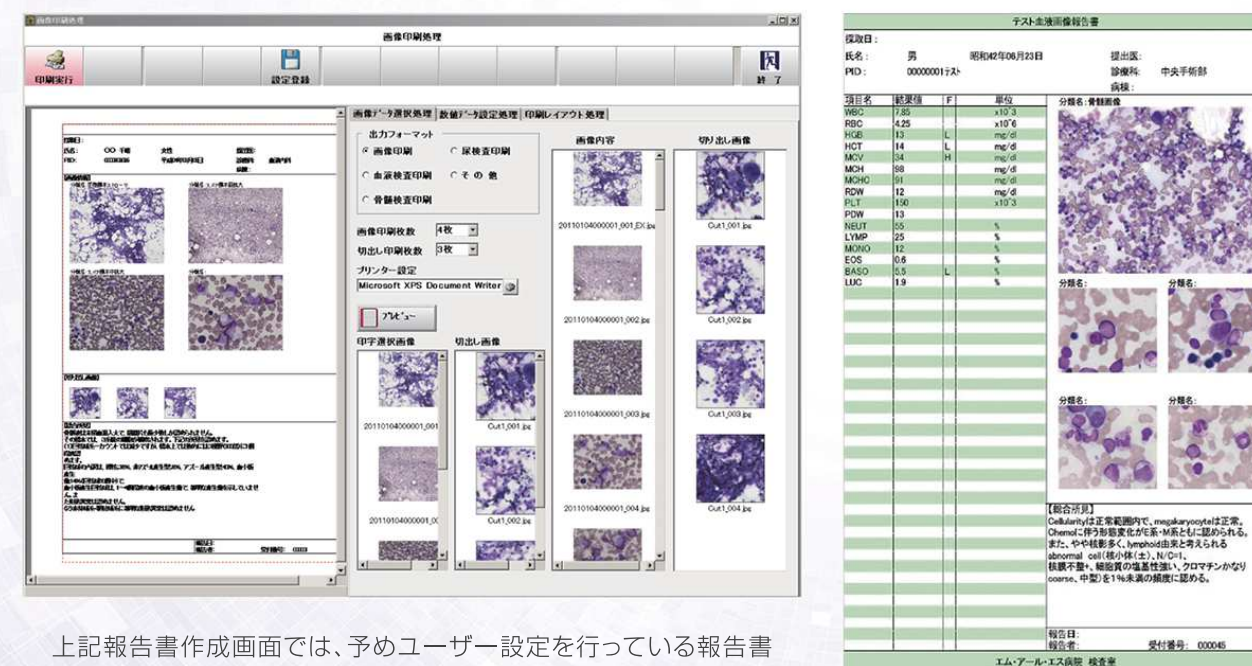
左記症例(画像)検索画面は、症例毎に画像検索を行い一覧表示を行います。患者コード、患者名、疾患情報(AML、ATLL、CML etc..)などの条件を複合させ検索を行えるため、症例毎の研究や学会発表用資料作成などに大変有用です。

詳細確認を行いたい画像をマウス指定することで、全細胞画像確認及び編集画面へと切り替わります。

2. コメント検索機能で詳しく検索

症例検索と同様に過去に入力されている画像情報に附属したコメント情報で検索を行えます。画像データのみでは検索がしにくい場合など、キーワードによる検索が可能です。

報告書発行機能



上記報告書作成画面では、予めユーザー設定を行っている報告書パターンを呼び出します。呼び出された報告書パターンに対して、報告を行いたい細胞画像を指定することにより報告書プレビュー画面側へ細胞画像が貼付されます。画像貼付完了後にプレビューボタンで報告書イメージを確認後印刷発行できます。
(右上／報告書参照)

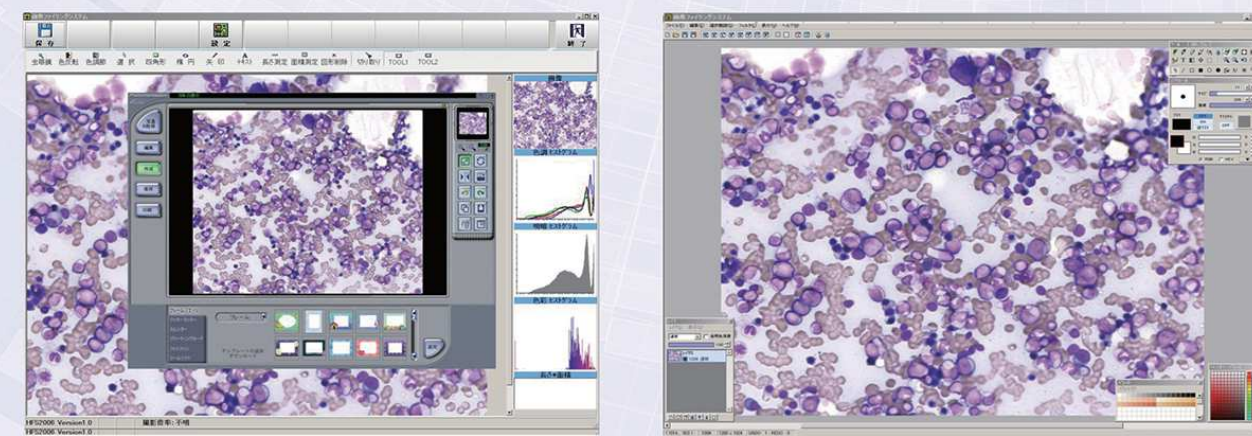
報告書パターンは予め標準パターンとして3パターン(血液用/マルク用/画像のみ)持っておりますが、ユーザー設定により好みのレイアウトをユーザー側で作成することも可能です。
(市販ソフト/EXCELを使用)



画像編集モードにて細胞画像の一部を切り出した画像を報告書に貼り付けることも可能です。

市販編集ソフト / リンク

本ファイリングシステム(HFS3000)としての編集機能もございますが、既にユーザー様で使い慣れた市販編集ソフトでの編集をご希望の場合は、本ファイリングシステムよりリンクが可能です。※市販編集ソフトはオプションです。



TOOLボタンを選択することにより市販編集ソフトが起動します。
画面中央は市販ソフトArcSoft社 Photolmpression4です。

画面はフリーソフト AzPainterです。